

アカハライモリとは...

おなかが赤く、日本こゆうしゅのイモリ。じゅんぜつめっきぐしゅで水のきれいな所にいる。どくがあることを赤色で伝えている。

アカハライモリのよう生

(2023年 5月14日 生まれ) かんさつ日
2023年 7月26日
(ふ化後 73日目)

目:丸く、もり上げてまぶたがある

外えら (すきとおって血かんが赤く見える。)

おびれはすきとおって長くて大きい。しっぽは太めですこく長くはない。

バランサーは生後7日ですれてえらが出てきた。

前足は4本

水かきはない

後ろ足は5本

ひきはうろこもなく、ぬるぬるしていて、凸凹もない。色はうすいはた色~茶色。

体長 27 mm

動性 京都のふく矢口山でとれた水草(オオカナダモ)にたまごがついていて、ふ化する時アカハライモリだとわかりました。赤ちゃん(よう生)の時は体がすきとおっていて、とてもきれいで、イ本の中か見えてふ思きにかわるので、かんさつ図をかいて、しょうかいしたいと思いました。

わかったこと

同じ両生類のかねるとも、足の生えるしゅん番が水かき、足のゆびの数などのちがひがあることがわかりました。赤ちゃんの間は、しっぽをくねらせて泳ぐので、体をささえるため、前足が先に出て、大人のイモリは泳がれないので、水かきがないと考えました。えらは、水中でこきゅうをするために、たく山の血かんがみつようなのだと思いました。

アカハライモリのせい長

- 変態(体の作り、こきゅう、食事、生活の仕方など大きく変わるこ)によってせい長する。
- たまご → ぐか生 → ぐかイ本 → せい本(親)
- ぐか生の時は水中ですごし、えらこきゅうをする。
- ぐか体になると、えらがなくなり、肺、ひふ、こきゅうで生活。

にている動物とのちがひ

	イモリ	カエル	ヤモリ
分るい	歯生るい		は虫るい
生活の場所	子:水中 親:水中、水両方		りく
こきゅう	子:えら 親:肺、ひふ		肺
たまご	水中でうみ、からはなく、たまごのからゼリーのようなものでおおわれ		りく
うろこ	なくて、ひふかぬるぬる		ある
温度のこきゅう	うける(こきゅう)温度(かき)		うけない(はん温度)
足の生る方	前から	後ろから	両方
水かき	ない	ある	ない

感想

生活にひつようなものは残たつし、そうでないものはなくなていき、せい長はおも白いと思いました。糸田かいところまで自分の目でかんさつすると、本やインターネットではわからないうところか見ることかでき、うれしか。たです、かかわいいアカハライモリかすめる、きれいな川かまもられていくといいです。

アカハライモリのぐか生のとく長

- よう生の時はまだおなかは赤くない。
- 前足から先に出て、しっぽを使って重き、後ろ足が出たら歩きはじめた。
- 水かきはなく、イ本をくねらせて重か。
- えらの中には、たく山の血かんが見えた。